プログラミング言語Egisonのループ構文による拡張 江木聡志(東京大学)

添字付き変数

```
$x_1
$y_2_1
$z_(+ 1 1)_3_(* 3 2)
```

Egisonでは変数名の後に'_'とそれに続けて式を書くと添字付き変数となります. 添字はいくつでも付けることができます. 添字の式は評価されると整数を返す式でないといけません.

例1.組み合わせの計算

コレクションをリストとしてパターンマッチし、consと joinを組み合わせたパターンでマッチすると、そのコ レクションからいくつかの要素を取り出す組み合わ せをとることができます。

以下は2つの要素を取り出す組み合わせを返す例です.

また、以下のようにすると3つの要素を取り出す組み合わせを返す式になります。

```
(test (match-all {1 2 3 4 5} (List Integer)
	[<join _ <cons $a_1 < join _ <cons $a_2 < join _ <cons $a_3 _>>>>>
	[a_1 a_2 a_3]]))
=> {[1 2 3] [1 2 4] [1 2 5] [1 3 4] [1 3 5]
	[1 4 5] [2 3 4] [2 3 5] [2 4 5] [3 4 5]}
```

取り出す要素の数が固定なら、上記の例の通り1つの簡潔なパターンで表現できます.

しかし、パラメータの値によって取り出す要素の数を変えるようなパターンを書こうとすると特別な工夫なしではそれが不可能なことに気付きます.

```
<join _ <cons $a_1
  <join _ <cons $a_2
    ...
  <join _ <cons $a_i _>
    ...
  <join _ <cons $a_n>>...>
```

ループ構文を用いるとこのような添字だけが変わる式が任意の回数続く式を表現することができます. 以下は上の式をループ構文を使って表現したものです.

```
(loop $1 $i (between 1 n) <join _ <cons $a_i l>> _)
```

このパターンを使うと引数で指定されたコレクションから、もう1つの引数で指定された数の要素を抽出した組み合わせを返す関数を簡潔に定義できます。

例2. グラフのパターンマッチ

ループ構文を使うと、グラフのノードの個数によって パターンの長さが変わるハミルトン閉路やハミルトン パスのパターンが1つのパターンで簡潔に表現でき ます.

```
(define $g {<node 1 {2 3 4 5} {2 3 4 5}>
	<node 2 {1 3} {1 3}>
	<node 3 {1 2 4} {1 2 4}>
	<node 4 {1 3 5} {1 3 5}>
	<node 5 {1 5} {1 5}>}
```

グラフはノードとそこから伸びる エッジの組み合わせのマルチ セットとして表現されます.

